

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800291		
法人名	特定非営利活動法人 ほのか会		
事業所名	グループホームおおきな家 東館		
所在地	夕張郡長沼町西町1丁目4-6		
自己評価作成日	平成30年2月10日	評価結果市町村受理日	平成30年3月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail.2017.022_kan=true&JigyosyoCd=0175800291-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成30年2月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様の、個性や思いを尊重し、自立して生活して頂けるよう真心をこめた支援をしていきます。
長沼の四季を感じる季節の行事や、公園内の散歩などに参加して頂き、地域住民の皆様と顔なじみになり、健康で、笑顔の尽きない生活が送れるよう支援していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長沼町内の周囲に田園風景が広がる住宅地にある2階建て2ユニットのグループホームである。玄関前に小公園があり、気軽に散歩や外気浴を楽しむことができる。建物は清潔で、南に面した窓から光が差し込み、明るく快適である。観葉植物が多く置かれ、庭の緑を楽しむこともできる。浴室やトイレは比較的広く造られ、エレベーターが設置されている。居室には利用者が馴染みのものを持ち込んでおり、冷蔵庫、仏壇、、机、椅子、筆記用具などを持ち込んでいる方もいる。居間では利用者が皆で歌を歌ったり、百人一首などのゲームをして明るく楽しみ、温かな雰囲気となっている。町との連携では、運営推進会議の他、町内の介護、医療関係者が集まる地域連携会議で町の担当者と情報交換をしている。馴染みの関係継続の面では、多くの友人や知人の来訪を受け入れ、利用者の希望に沿った美容院や買い物などへの同行支援を行っている。受診支援の面では、月2回の往診体制を整え、個々のかかりつけ医への定期受診も支援している。彩りや品目が豊富で美味しい食事が提供され、利用者もできる範囲で食事の手伝いをしていいる。外出支援の面では、日常的な散歩や買い物、通院の他、年間行事で花見やドライブ、紅葉狩りなどに出かけて楽しんでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができてい (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ゆったりと楽しく自由に、ありのままに暮らしの喜びと自信をみんなと共に」を理念に掲げ、ご利用者様が安心して暮らせるよう努力しています。	4項目からなる理念の中の「みんなとともに」という文言に、地域のみんなとともにという意味を込めている。理念を廊下に掲示し、各職員は理念を理解し、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し「花いっぱい運動」や「清掃活動」に、ご利用者様と職員と一緒に参加している。また、夏祭りなどの行事にお誘いし地域の皆様との交流を深めています。	法人が合同で行うお祭りに地域の方が多数参加している。地域の花植えや清掃活動に利用者も参加している。ラジオ体操や子供神輿で前の公園に来た子供たちに事業所のトイレを貸し、中学生の体験学習も受け入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の研修会に職員が参加し、知識を深め、地域の方々に理解や支援を伝え広めていけるよう努力しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて、おおきな家の取り組みを報告したり、ご家族様や地域皆様から寄せられた意見を今後の、サービス向上に反映できるよう努めています。	運営推進会議を年2回開催し、町職員、町内会長、地区会長、複数の家族が参加し、防災や感染症、ターミナルケアなどを話し合っている。今後はテーマに関する資料や議事録の内容をさらに充実する方針である。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者は、役場主催のサービス調整連絡会議に参加し町内外の福祉関連職員と協力関係を築くよう常に努力しています。	運営推進会議に町職員の参加があり、町内の介護、医療関係者が集まる地域連携会議に管理者が出席し情報交換している。役場に利用者の生活保護の申請に関する相談を行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は、日々、身体拘束のないケアを実践しています。研修にて具体的な身体拘束を学び理解する努力をしています。また、玄関の施錠はしていません。	禁止の対象となる具体的な行為を明記した身体拘束に関するマニュアルを用意しているが、去年は勉強会を行っていない。玄関は日中施錠せず、出入があればセンサーで分かるようにしている。	禁止の対象となる具体的な行為について職員の理解が深まるよう、年1回はマニュアルや資料を使って勉強会を行うことを期待したい。また、マニュアルや資料を職員がいつでも見られるように用意しておくことを期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は、研修等にて虐待防止について学び理解を深め、虐待のないケアを実践し、虐待防止に努めています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護、成年後見制度等は、研修会を通じ学び理解する機会はありませんが、現在まで活用した支援はありません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、ご利用者様、ご家族様に丁寧に説明をし、不安や疑問には、時間をかけて解りやすく説明するよう努め、納得が得られるよう努力しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の来訪時など、ご利用者様の状態を報告したり、ご要望や、ご意見などいつでも聞く事ができるよう信頼関係を築き、頂いた意見を運営に反映できるよう常に努めています。	家族が来訪した際や運営推進会議の際に意見を聞き、意見を連絡ノートで共有している。最近では利用者の足のむくみに関する意見を得てケアの実践につなげた例がある。毎月個人ごとに写真入りのお便りを作成し家族に送付している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	法人本部は、定期的に職員の意見や提案を聞く機会を設けています。その意見を運営に反映させています。	3か月に1回程度、全体ミーティングを行っており、今後は参加できない職員にも意見収集や内容の周知を行う方針である。職員はいつでも管理者や法人の理事長と相談ができる。職員は行事の際の役割を分担し、運営に参加している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人本部は、職員個々の努力や実績について直接的、間接的に職員の就業状況の把握に努めています。食事会、パークゴルフ、卓球、小旅行など、福利厚生にも力を入れています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人本部は、業務に無理のない範囲で内部、外部研修に参加できるよう配慮している。参加出来なかった職員には別の機会の参加を促したり、研修資料を配布しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	各地で開催される同業者との合同研修会などで、ネットワークの機会を作り、意見交換、情報交換等を行いサービスの向上に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者様や、ご家族様から、安心して頂けるよう、情報を聴き、困っていることや不安なこと、抱えている問題などに耳を傾け安心してサービスを受けること関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様、が不安に思ってること、困っている事に、耳を傾け、要望を確認し、少しでも不安が解消できるように支援し、より良い関係を作れるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様の思いや、要望を聴き、必要とされるニーズ確認を常に行う。また他のサービスも必要かを検討し都度対応できるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様、一人一人の人格を大切にし、一方的な介護ではなく、少しでも本物の家族に近づける関係づくりに努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様に、生活状況を月1回のお手紙で報告している。また、電話連絡、ご家族様の訪問時に状況をお知らせし、意見、相談をお受けし、ご利用者様と一緒に支える関係を築けるよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居される時、ご利用者様の馴染みの品物を持参して頂いたり、馴染みの知人が常に来訪して頂いたり、馴染みの美容室、お店などの継続利用ができ交流支援しています。	5名ほどの方に近所に住んでいた方や農家仲間、踊り仲間、宗教関係の知人などが来訪している。4名の方は事業所の送迎で馴染みの美容院に通っている。家族とお墓参りに行ったり、利用者の一人の職場だった長沼温泉に花見に行ったこともある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係づくりのために、一人ひとりの個性や、生活習慣を把握し、ご利用者様同士が支え合い孤立する事がないように職員が常に関係づくりの支援をし、お互いに助け合い良好な関係が続くよう努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用者様が入院をされた場合は、馴染みの関係が崩れないように病院へ常に行き状況に聞いたり、家族様とも連絡を密にし相談や支援をするよう努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様の思いや意向の把握に努め、個々の思いを汲み取り寄り添う支援をするよう心掛けています。またご本人の意向も把握が困難な場合、ご家族様と相談し本人本位の支援に努めています。	半分の利用者は言葉で思いや意向を表現できている。基本情報、課題分析(アセスメント)概要の定期更新は、行えていないユニットもある。また、趣味や嗜好の情報の記載は少ない。	両ユニットが基本情報、課題分析(アセスメント)概要を定期更新すること、趣味や嗜好なども把握できるよう、センター方式のB-3シートを参考にした様式の工夫を期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者様、ご家族様、ケアマネジャーより、情報収集を行い、ご利用者様のこれまでの経過を把握するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で、生活リズム、生活習慣や身体状況の現状把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画書作成時にご利用者様、ご家族様意向を確認し、職員より、ご利用者様の状態の確認を行い関係者とアセスメント、モニタリングし、現状に即した介護計画を作成しています。	3か月毎に介護計画を更新している。モニタリングシートを作成しているが、短期目標とモニタリング項目が連動していないケースがある。個人記録は計画目標に沿って記入する様式であるが、計画を意識した記録が十分に行えていない。	短期目標に連動したモニタリングシートや評価表の作成を期待したい。また、職員の介護計画への理解を深めるとともに、計画目標の実施状況と課題や変化の記録も行うことを期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意し、日々の記録を行い、職員間で情報を共有のケアの実践に繋げています。また介護計画の見直しにも活用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様やご家族様の状況に応じて発生するニーズに対してその現状に即した柔軟な対応ができるよう努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の福祉サービス等把握し、ご利用者様のニーズに対応できるよう努め、また町内会の行事にも職員と一緒に参加し楽しく生活が、できるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者様の馴染みの、医療機関に定期受診の支援行っています。職員も付き添い主治医との関係を大切にして適切な医療を受けられるよう支援しています。また、訪問診療も利用されている方もいます。	2名の利用者が月2回の往診を受けている。その他は個々のかかりつけ医を定期受診しており、事業所で通院を支援している。個人ごとの「受診経過記録」に受診状況を記録し、職員間で情報を共有している。	

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が配置されており、ご利用者様の状況の変化に、いつでも対応できる体制が整っています。ご利用者様の健康状態の把握に努め、個々のニーズに対応できる体制が整っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際は安心して治療し、早期に退院ができるよう病院関係者との情報交換や相談を密に行うように努めています。お見舞いも数多く訪問し、病院関係者との信頼関係を築く努力もしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期については、ご利用者様やご家族様と相談し希望があれば対応するよう努めています。	重要事項説明書の中の「重度化対応・終末期ケア対応指針」に沿って事業所の方針を説明し、同意を得ている。4年前に1名の方の看取りを経験しており、今後も対応できるよう看取りの勉強会を行う方針としている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防職員の指導にて、定期的に初期対応の訓練に参加しています。不定期だが心肺蘇生の応急手当講習にも参加しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会、地域住民の皆様にも避難訓練に参加して頂きたくため、町内会の総会、町内会長に協力をして頂いています。また、運営推進会議にでも協力をお願いをしています。	年2回、昼夜を想定した避難訓練を消防の指導、地域住民の参加のもと行っている。一方、職員の定期的な救急救命訓練の受講や防災マニュアルの共有は行っていない。	全職員が定期的に救急救命訓練を受講できるよう、計画的な取り組みを期待したい。また、地震などに備えた防災マニュアルの共有と、入浴時などケア場面に応じた災害時対応の確認を期待したい。
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様、一人一人の人格や尊厳を大切にし、プライバシーにも配慮しにする声掛け、対応をするよう心掛けています。	理事長が定期的に来訪して、言葉のトーンや話し方について指導している。今後は、接遇研修を計画的に実施していきたいと考えている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様が自己決定や思いを表出できるような雰囲気づくり、言葉掛けに努め自己決定できるよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様のペースを尊重、優先し、それを大切にして、自由で、ありのままに自分らしく過ごすことができるよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時、入浴時、着替えが必要な時、洋服選び自己決定ができるよう支援しています。また、法人の理容師が3ヶ月に1回訪問し髪を整えています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	季節に応じた食事のメニューがあり、その都度、法人本部より行事食の配達があります。職員とカレーライス等々の簡単な料理作りに参加していただいています。後方づけのお手伝いもお願いいたします。	利用者の好みに合わせて食材を変更することもある。敬老の日に外部の弁当にしたり、バレンタインデーにカニ飯などにしている。利用者と一緒にホットケーキを焼いて食べることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様の、習慣を把握し水分量や食事量の記録を行いその、ご利用者様に応じた摂取量が確保できるよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後の口腔ケアの支援を行っています。介助の必要な方々には職員が、必要な支援を行います。終寝時、義歯の洗浄を行います。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご利用者様の、排泄チェック表で排泄パターンを把握しトイレで排泄ができるよう声掛けや介助を行っています。	自立している方も多いが、全員の排泄を「生活シート」に記録して各利用者に応じた声かけや誘導を行っている。日中はトイレで排泄できる方も、状況に応じて夜間のみポータブルトイレやベッド上での排泄用品の交換で対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防のため水分摂取、運動の声掛けをしています。また排泄チェック表を用いて排便パターンを把握します。下剤を使用しスムーズに排便ができる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	原則として、月曜日から金曜日が入浴日ですが、個々の希望、体調に応じて柔軟に対応しています。入浴剤を使用し、気分転換して頂いています。	月火・木金の午後の時間帯に週2回の入浴を支援している。体調不良等があれば、午前中や他の曜日に対応することもある。ジャンケンで入浴順を決めたり、気の合う利用者同士で入浴することもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様、個々のその日の状態や習慣に応じて休息が取れるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員が個々の薬の内容を理解できているか確認したり、薬の変更の際は、申し送り、記録に残し確認できる体制にしている。副作用など分からない事は、薬局に確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お誕生会や、季節に合わせたホーム行事に参加いただき気分転換をして楽しんで頂いています。個々に、合う役割をみつけ力を発揮して頂けるよう支援しています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所の公園を散歩したり、日光浴をしたりしています。また、お花見や紅葉狩りなどのドライブの外出支援にも努めています。また、買い物の希望があれば外出支援も行っています。	普段は目の前の公園や近くの公園まで出かけている。長沼温泉方面にお花見に出かけたり、紅葉見学で長沼東庭園に外出している。冬季もどんど焼きや白鳥見学に出かけたり、音楽療法で同法人の事業所に月2回程出かける機会がある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご職員が必要に応じて支援しています。ご利用者様が、管理できる場合は個人で管理できるよう支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様からの要望があれば支障がない限り気軽に電話や手紙での交流ができるよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様が、ゆったりと居心地よく過ごせるような雰囲気作りや環境を作りをしています。	居間と食堂は、大きな窓に面した明るく開放感がある造りで、ゆっくり落ち着いて過ごせるようにユニットごとにテーブルやソファの配置を工夫している。歩行訓練や昇降運動ができる用具も準備している。季節を感じる雛飾りや観葉植物、花がさりげなく飾られており家庭的な温もりが感じられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者様が、自由に楽しめるよう座る場所に配慮したり、自由なペースで過ごせるような雰囲気作りにも努めています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様が今まで使用していた馴染みの家具や写真、どのような物でも持して頂きご自宅の雰囲気で安心して暮らして頂けるよう環境を整えています。	自室が分かるように、本人の好きな写真を入り口に掲示している。使い慣れた鏡台や机、椅子を持ち込んで使いやすいように配置している。馴染みの人形を傍に置いたり、ぬり絵や習字などの作品を飾りその人らしい居室作りをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内は、完全なバリアフリーになっており、安全で分かりやすい作りになっている。ご利用者様が安心して自立生活を、いつまでも、送れるよう支援しています。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800291		
法人名	特定非営利活動法人 ほのか会		
事業所名	グループホームおおきな家 西館		
所在地	夕張郡長沼町西町1丁目4-6		
自己評価作成日	平成30年2月8日	評価結果市町村受理日	平成30年3月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=0175800291-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成30年2月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様個々の力を発揮し、自立した生活が送れるよう支援しています。 季節の行事や散歩などに参加し、地域住民との交流を図っています。 毎年「みんなの家」と合同で夏祭りを開催し、ご家族やご近所の方を招きご入居者様と共に交流を深めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ゆったりと楽しく自由に、ありのままに暮らしの喜びと自信をみんなと共に」の理念を実践し利用者様がより良い生活を送れるよう支援に努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し「花いっぱい運動」や「清掃活動」に利用者様と一緒に参加したり、夏祭りなどの行事にも近隣の方々をお誘いし交流を持っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症について職員が共通の理解を持てるよう研修会に参加し、地域の方々にも理解や支援を伝えていけるように努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	当ホームの取り組みについて報告し、ご家族様や地域の方と意見交換を行い、今後のサービスに反映できるよう努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者と連携し協力関係を築くよう努めています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は身体拘束の具体的な行為について認識を深めるよう努め、職員間で情報を共有、サポートし合えるよう協力し、身体拘束のないケアを実践しています。また玄関や、内ドアなどの施錠はしていません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は、虐待防止について理解を深めるよう努め、虐待のないケアを実践し、利用者様の身体状況の報告を常に行い見過ごすことが無いよう、防止に努めています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度等は、研修会等学ぶ機会があれば参加するよう努めています。 現在まで活用した支援はありません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、ご家族やご本人の不安や疑問点等について解りやすく、納得頂けるよう説明するように努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の来訪時などに利用者様の状態を伝えたりご要望や、ご意見をいつでも聞く事ができる体制、環境を作り、お聞きしたご要望、ご意見を運営に反映できるよう努めています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の業務の中で情報交換や意見交換など行い業務に反映できるよう努めています。 また法人本部は職員の意見や提案をいつでも聞ける体制を設けそれらを業務に反映させています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、直接的、間接的に職員の就業状況の把握に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握している。 法人内の研修の機会の確保はできていない。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との合同研修会などでネットワークの機会を作り意見交換をしサービスの向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人やご家族からこれまでの生活環境や情報をお聞きし困っていることや不安なこと、抱えている問題などに耳を傾け安心してサービスを受けることができるような関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が不安なこと困っているこに耳を傾け、要望を確認し、少しでも不安が解消できるように支援していく事でよりよい関係を作れるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	情報収集、評価し長期的な支援が必要か早急な支援が必要か否かを見極めニーズに即した支援ができるよう努めています。また他のサービスも必要かを検討し都度対応できるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者一人ひとりの人格を大切にし一方的な介護ではなく家族的な雰囲気物事を一緒に行い支えあいながら生活を送っていけるような関係づくりに努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の生活を支えるという目的のもと、生活状況の報告や、相談をしながらご家族と一緒に係わり支えていけるような関係づくりに努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人や友人の来訪は支障がない限り少しでも多くの方が継続して来て頂きたいという雰囲気づくり、姿勢を心がけています。また行きつけの美容室やお店への送迎など行い、これまでの関係が途切れないような支援に努めています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係づくりのために、一人ひとりの個性や、生活習慣を把握し、利用者様同士が支え合い孤立する事がないよう関係づくりの支援をし、お互いに助け合い良好な関係を作れるようサポートしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用者様が入院をされた場合は、馴染みの関係が崩れないように病院へ会いに行き状況を聞いたり相談支援をするよう努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様の思いや意向をお聞きしたり、これまでの生活環境やご家族からの情報、ご本人との会話などから把握に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族からの情報をお聞きし把握に努めているが十分ではなく利用後も必要に応じて把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で生活習慣や身体状況の現状把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の状況、必要なケアについて職員間で話し合いご家族からの意見も取り入れ介護計画書を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを作成し、記録し職員間で情報を共有し日々のケアの実践に繋がっています。介護計画の見直しにも生かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様やご家族様の状況に応じて発生するニーズに対して必要に応じ柔軟な対応ができるよう心掛けています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	福祉サービスや医療機関を把握しニーズに対応できるよう努めています。また町内会の行事にも参加し豊かな生活ができるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望を尊重し入居前からのかかりつけ医に継続して受診ができるよう支援しています。専門医についても町外の受診の支援をしています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	非常勤の看護師が配置されておりいつでも対応できる体制が整っています。職員は利用者様の健康状態の把握に努め、状況に応じて看護師へ連絡、相談し適切な看護が受けられるよう支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際は安心して治療し、早期に退院ができるよう病院関係者との情報交換や相談を密に行うよう努めています。また通院時には情報交換し病院関係者と協力できるような関係づくりに努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期については、ご本人やご家族と相談し希望があれば対応するよう努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	すべての職員が定期的に応急手当や初期対応の訓練は行っていない。個別には町内で主催する応急手当の研修会に参加しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回火災などを想定し避難訓練を実施していますが地域住民の参加は得られていません。災害時の協力体制については地域運営推進会議において話し合いがなされ協力体制がなされています。		

Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格や尊厳、プライバシーに配慮した声掛け、対応をするよう心掛けているが、時々配慮に欠けた声掛けや対応があり職員間で注意をしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定や思いを表出できるような意図的な声掛けや表情の観察、雰囲気づくりに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを尊重、優先し各々が自由にありのままに自分らしく過ごすことができるよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	鏡の前で髪を整えていただいたり、入浴の着替えの準備、外出の際の洋服選び等、出来るだけ自己決定ができるような支援に努めています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の嗜好や嚥下など把握し食事を提供しています。また食材の下準備や食後の後片付け等に参加していただき、職員も同じテーブルと一緒に会話をしながら食事を楽しんでいます。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの習慣を把握し水分量や食事量のチェックを行い各々の一日の摂取量が確保できるよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後の口腔ケアを個々の状態に応じて声掛けや、介助により支援しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表で排泄パターンを把握しトイレで排泄ができるよう声掛けなど支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防のため水分摂取、運動の声掛けをしています。また排泄チェック表を用いて排便パターンを把握し、主治医と相談し必要に応じて下剤を使用しスムーズに排便ができるよう支援しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週2回入浴日ですが個々の希望、体調に応じて柔軟に対応しています。入浴を拒否される場合は時間や日を改めるなどしてなるべく入浴できるよう支援しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各利用者様の習慣や体調似合わせて休息ができるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様個々の薬の内容、副作用について理解に努め、薬の変更があった場合は記録と申し送りを適格に行い、症状や副作用について注意し、状態によっては主治医や薬剤師に相談し調整しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴や嗜好、力の把握に努め、ご本人の状態にあった役割で力を発揮できるよう支援しています。季節のホーム行事等にも参加し気分転換が図れるよう支援しています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	悪天候や冬季以外はご出来る限り近所を散歩したり日光浴などの支援をしています。また要望があれば買い物や美容院への外出の支援をしています。またご家族やご友人などと協力しながら外出できるよう支援しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が出来る方は所持し必要に応じて使えるよう支援しています。また預かり金として管理しご本人の要望により使用しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様からの要望があれば支障がない限り気軽に電話や手紙での交流ができるよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様が、ゆったりと居心地よく過ごせるような環境作りに努めています。快適に生活が送れるよう室温や湿度、採光などの配慮に努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人の時間、または気の合った方と楽しめるよう座る場所に配慮したり、雰囲気作りに努めています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた慣れ親しんだ道具や、家具、ご家族の写真など持ってきて頂き自宅のような雰囲気の中で安心して落ち着いて生活できるよう支援しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はご利用者様が迷う事が無く解りやすい作りになっています。少しでも自立した生活を送って頂けるよう手摺の設置、家具の場所などスムーズに行動できる環境づくりに努めています。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム おおきな家

作成日：平成 30年 3月 12日

市町村受理日：平成 30年 3月 15日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	身体拘束禁止に関する、職員の学習機会が無かった。	身体拘束禁止の具体的な行為について 理解を深める。	身体拘束の具体的な行為について職員の理解が深まるよう学習の機会をもつ。年1回は、身体拘束の資料等を使用し勉強会を行う。その資料等を職員が自己研鑽できるよう常に閲覧できるよう用意する。	1年
2	23	ご利用者様の思いや意向の把握に関して、課題分析シート等に趣味や嗜好の情報の記載が少なかった。	ご利用者様の基本情報や課題分析の定期更新時、趣味や嗜好の情報の記載量を多くする。	ご利用者様の基本情報や課題分析の更新時期を規則正しく行い、その際、ご利用者様の趣味や嗜好をより多く把握するための機会をもち、趣味や嗜好の記載量を多くするため、センター方式のシートを参考に活用したい。	1年
3	26	介護計画を更新する際、短期目標とモニタリング項目が連動していない場合があった。	介護計画の更新時、ご利用者様の短期目標とモニタリング項目を連動させる。そのため、個人記録を計画に沿って記載する。	短期目標とモニタリングを連動するためのシートの見直しや、評価表の見直しをしていきたい。また、個人記録の記載に関して、計画を意識した記録を心がけ職員の介護計画の意識を深め計画目標の状況分析や課題変化の記載も行いたい。	1年
4	35	職員の救急救命訓練の受講が定期的に行えて無かった。	救急救命訓練の定期的受講や防災マニュアルの共有を行う。	職員の救急救命訓練の受講に関して、消防署や各機関において定期的に開催される講習会の日程を把握し、周知し参加して頂く努力をする。また、防災の勉強会を行い、防災マニュアルの共有を行いたい。	1年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。